

第6表

インバランス等収支計算書

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	66,103	営業収益	64,664
地帯間購入電源費	11,612	地帯間販売電源料	23,047
（インバランス対応取引費用）	(4,703)	（インバランス対応取引収益）	(5,393)
（インバランスネッティング費用）	(3,441)	（インバランスネッティング収益）	(7,156)
（広域運用調整電力量に係る費用）	(3,467)	（広域運用調整電力量に係る収益）	(10,496)
他社購入電源費	51,518	他社販売電源料	7,393
（インバランス対応取引費用）	(17,766)	（インバランス対応取引収益）	(7,393)
（インバランスの買取りに係る費用）	(33,751)	（追加供給電力量に係る収益）	—
（追加供給電力量に係る費用）	—	（追加供給力に係る収益）	—
（追加供給力に係る費用）	—	託送収益	31,355
社内取引費用	2,972	接続供給託送収益	31,355
（インバランス対応相当額取引費用）	—	（インバランスの供給に係る収益）	(31,355)
（インバランスの買取相当額取引費用）	(2,972)	（インバランスリスク料に係る収益）	(1,111)
		（インバランス調整に係る収益）	—
		社内取引収益	2,867
		（インバランス対応相当額取引収益）	—
		（インバランスの供給相当額取引収益）	(2,867)
		（インバランスリスク料相当額取引収益）	(88)
特別損失	—	特別利益	—
（インバランス調整に係る費用）	—	（インバランス調整に係る収益）	—
インバランス等取引損失	△1,438		

- (注) 1. 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。
なお、2024年度における確定額は、営業費用65,453百万円（地帯間購入電源費11,612百万円、他社購入電源費50,868百万円、社内取引費用2,972百万円）及び営業収益63,561百万円（地帯間販売電源料23,047百万円、他社販売電源料7,547百万円、託送収益30,098百万円、社内取引収益2,867百万円）である。
2. 本表に計上したインバランス料金に対応する電力量（単位 百万kWh）
余剰インバランス 3,589
不足インバランス 3,213
3. 年度確定値の電力量（単位 百万kWh）
余剰インバランス 3,612
不足インバランス 3,109
4. インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
5. インバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は△0百万円である。